発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会 事務局 青少年育成センター 電 話 043 (421) 78 (学は五)



恭

子

区じ学 かめ区 `合 ら も先同 補生パ 導方ト 委 `П 員 P 丨 がTル 参Aは 加の し方学 て々区 、内 行 わ開各 れ催校 ま学の す区校 。以長 外先 の生 四を

学は五

を団な会地不 かどり原き周をだ執P内 深結いと域審意にもま小なを三き行T三梅 めし会なの者見行たしま公まつ、部A校雨 、とり問が交うちたで園わの実の会のの し補なま題出換こを。パでつコ施皆長担晴 た導りし点た会と見楽ト下たししさを当れ 理。委、たを場でが守し口車後スまんはの間 員メ。改所はでりげし、にしにじ先の とン笑め等、きなにル徒コ分たもめ生暑 しバいてを狭まが下し歩しけ。ご、方い て | 声考確いしら校なにス、広参八を日 のがのえ認歩た、すがて内車い加木中に

四なり導もな、で園は一広参 街りま委広ど普しな知ルい**加** 道まし員範巡段たどっで学者 西したの囲視は。初てし区の 中た。皆です訪人めはたの感 学。情さ、べれ目てい。一想 報ん千きるに行ま千部5 交の代地人つくし代を X 換ご田点のかとた田車 会苦中が少なこが団で は労学多ないろ、地の 参が校くい橋ば市のパ 貞 考わ区し霊のか営名ト

にか補か園下り霊称ロ

5 りに結まか区驚て車公イし 四が胸束たがパきみで園バた小参 街とが力、うト、て実のル。雨加 道う熱と旭か口危改施三フ自の者 中ごく細中が一険めしコイ転中の 学ざなや学いル個てまーー車の感 校いりか校知が所学しスル通パ想 篠区ままな区れいの区たにド学トS ししおのまか把の。分、路口 たた心皆しに握広まか団、「 。。遣様た大やさわれ地サル

あいの。変学にって内バで

恵

とのた安たでわも校見パに施長P中 う方ら全。する知の交ト分しさT学他 ごにと見学」こら先換口かまんA校学 ざ参思守校ととな生会」れしに会の区 理い加いりとのがかかをル、たも長校の 事まいまを地感出っら行を車。参や長方 したす実域想来たはいしで三加地・や 篠ただ。施ともて地「ま、三つい域教学 。きたし協あ良域自しそ十のたの頭区 あくて力りかを分たの分コだ自先内 りさいしまっ見た。後ほ一き治生の がんけてしたまち学意どス実会と小

自一絶るし道。和るら八ので学い原心学

信致え機、や や子戻木大外区た小に区

七 千 参月 代 加八 田 人日 数へ 中 四火 学 校 人午 区 後 五 時

> 旭 中 学 校 X

九 参 ^月 加八 人 数月 二十九-人 時 + 分

参る携まてき生年

校 区

九 加のがす、そ・各合てり校道四 参午月 しに子。良れ先校同いパの中街 加後二 た大ど地いが生のパるトP、道 人五十 他切も域声子方校トとロT四中 数時四 のだの・掛どに長ロいIA和学 四三日 学と成学けもも先しうルも小校 ++~ 区思長校とた参生ルこ活参、区 三分水 人了一 でいを・なち加・でと動加和の 自ま支親っにい教はでをし良絆

分す援のてとた頭、す実て比は の。す連いっだ先毎。践見小四 い役が同なきを学学 け割大パり点い区区 たを事トまをたとと 理ら果でロす検だなの 事良たす」。討くっ違 いす。ル今すこたい 萱で活その後ると際を 沼す動し更の良でに感

し守三街

子 てな携合とべ見催

。にてな五い改はじ な大る学機善、、 つき連区会す意開

千たし動今切てへしへ設ま通分 代。いを後だいの、の置し学か三加

と継もとく安子配やた路れグ者 思続、痛こ全ど慮危。を、ルの いしこ感とをもを険外ま徒「感 まてのしが守た要な灯わ歩プ想 しほ活、大っち請所のりでに うい参 重場少心は頂のの中狭四内十 ごま考今な所な配っき試二心く街を七四

参月 加十 人日 道 数へ 二金 +~ 七午 人後 五 区 時

四

街

西

中

学

校

四

街

道

北

中

学

校

区

ざすに後意がくで親まみコに車道車名街 い。さの見無何はとしと「徒の小でで道 理ま寒せ学をいかなしたしス歩通学ま行西 事しいて区頂のあいて。てをで行校わい中 た中頂パきでつか帰意両、ま量付るま学 。、きトまはた」宅見方今わの近コし校 あたロし」ら「す交体回る多の」た会 りい」た等逃街る換験初コい道ス。場 がとル。、げ灯ま会しめ「道幅と学で 貴るもででててス路が、区二

子

中じを掛る、マうばが西の 学ま高け通少ナに、多中感 作校しめと学し」な細く学想 田区たる、路でやっい、校5 。こ自にも交て路一区 と己し安通い地歩は 弥 が防よ心ルまが住と 必衛う安し網網宅で

要すと全ルたの街も

千だるいにを。目に交四参

代と意う通守各の入通街加

田感識心えり自よれ量道者

寺田

裕校

子区

学

ましでき生感いな庭所た含 四した、す方想まどでがちま北参 街た。とるのやしの、多にれ中**加** 道。あてこお小た約帰くとて学者 りもと話・。東宅あつい校の が参がは中他が時りてる区感 中 加学 と考出、・学重間ま魅為は想 瀬校 うに来普高区要をす力、繁 5 ごなな段校のだ決。的子華 X

ざりいおの方とめ各など街

いまの聞先の思る家場もも

せの 頂い為に宅街換 施に歩加長区 て現先きの子暗街灯会パレ分一頂・内各 頂状生までどくにがでトまかコき教四学 理きや方しはも危入多はロしれ「総頭校区 事ま取かた?た険るく「「たパス勢先のの しりら。」ち」と明市ル。トと二生小補 等の「他る内後 新た組は ロ車十方中導 。み、 の誘繁学い中の 一二九に学委 を各 感惑華区が心意 ルコ名も校員 を上でごのと 聞学 想も街同、部見

を多の様住は交

月

実

施

日

時

施

区

参午一 加後月 人六十 数時三 5 日 + 木 九 人

十 千一月 四十千九二 葉五十 街五葉時十 \$ 時日 道時↓∫一 四~ \$ □十日 街十月 佐十街一へ 倉七道時火 道七〜 時 時

か校

子

と思の

たにを列二職 れ列今 声努把車名員当ま車年 かめ握内がや市しパ度 けるしで参補でたトも をこ、の加導は。ロ 行とマ青し委育 一県 いをナ少、員成 ル下 ま目 年駅延セ が一 実斉 し的のの構ベン たと向実内ニタ 施広 。し上態や十一 さ域

実ス徒参校学

パ県 下 口 斉 ル 広 域 列 車 者ム空園午なグやう笑べあいへあ午

ので間一後るレるに顔てるまほる前

視、でではこクの優とい施しう乳中

点個二す中とトがし職る設たゆ児は

を々十。等をや印く員とで。う院千

取の週と少望D象接のきしと学、葉 り間間で年みV的し方のたて園児市

入題のも院ま等でてが、。も一童花

れ性プ開へすがしい家乳ご清に養見 たや口放市。少たら族幼飯潔う護川

くネしよの食のが設に

な。つの児を感か施区

害ラな学

教被グ的原

加

者

0

感

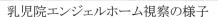
四 街 道 年 補 連 協 視

参育二

加成月

参月 加八 人日 数へ 二水 + -八実 名施

+



くくを存分し知日が愛れまもが園童て 感事子在はてり々我情なしの当~養いこ じなどな愛最心奮があかたと初と護たの まのもんさも打闘子ふっ。はイ中施だ度 しでただれ大たさをれた家、メ等設い、 たはち」る切れれ育る子庭遥し少へた視 。なにと価なまてて職ど環かジ年ほ乳察 い伝い値のしいる員も境にし院う児研 かえうのはたるがのたに異てはゆ院修 とてこあっ。の如方ち恵ない、う・さ 強いとる自そをく々をまりた私学児せ

た後でがた違 まるりぐ育 いの勉中がつ午しと方るや と活強々、た前たいなみ職 思動にで普施と 。うどで業 いになき段設午 指を今訓 ま活りなはを後 導具後練 すかまい訪視で も体の、 行的生ま 。しし場れ察は っに活た てた所るし、 い。なこま全 て考の親 き今のとしく いえあ子



代

田

阿校

部区

潤 子



とりるきイた 頂つへネと「彦生 とン義るンちネきいネッ対イ氏活千 、グ務機タをツまてツト策ンを・葉 家機が器|守トし実ト被ニタ講文県 庭能あをネる犯た例パ害と「師化環 でをり適ッた罪。をト防題ネに課境 の利、切卜めか ル用フにににら 一すイ管接、子 ルるル理続親ど

人セナ 数ン六 三タ日十一へ 挙ロ止しツお主生 三に月 げ 対てト迎幹活 人於し てル策青のえ中部 い お一事少現し嶋県 て 話に業年状、徳民

参 加 者 0

お生一げは信嘘いなな人り 話に人ら利用は・いい情を さ必でれ用し書な・人報推 れず悩ましなかり知かを奨 ま相ましないなすらら公さ し談ずたい・いまなの開れ たしに。」危・しいメしま ∘て保困等険書や人□なし ほ護っのなき、とルいた し者た例サ込悪合を・ い、らをイみ口わ開知っ と先、挙トは、なから個

作こタすではも 講演後の質疑応答の様子 謝プは修活での作たスしおる情ンもた危な員え 四申の、委動学こりるマて話情報やが。険らとし講 街し糧補員しんと管の一はが報のメスそ性なして師 道上に導長てだで理でト発あがな「マのをいて 西げな委とい知しす、ホ信り流かルーーおイ、親中 中まる員しき識たる家ン源まれにをトつ話ン気と嶋 学す講のてまを。こ庭等がして個発ホとしタづし徳 駒校。話レ中す活ことで広ゲたい人信ンして「かて彦 をべ嶋。かのがル範」。るをしでて頂ネな、氏 頂ル講まし研良「囲ム対現特て、、きッけ補を きア師たて修いルに機策状定いラ子まトれ導お

感ッに研、会とをわ、とのするイどしのば委迎

あこた。かか

加名に市

の二タ千 参十一葉

をのA区八月干

紹役の補木十代

介割方導原日田

しや々委小へ中

ま日に員学士学

しご、五校一校

たろ補名に

。の導がて

活委P、

動員T学

のびがし

。るミと察学足
・木市

良ュもはを尾少県か二

とシ市経し山視へ三へ

りン方と。地おつ参く

等よれ加

市

ク協千

連千

区

か青 ら少 お年 知育 ら成 せセ ン

タ

るとち両らな し子街にの等ゲに 会がの市近雰情たをでく案を「分合で、於青十 とで見を況囲報。知過の内千ムか同開当い少 るご雨で葉セれ補催市て年月 なき守行報気交 り、りき告の換 良す天回市ン、導さか、サ十 ま充を来が中会 い子でりのタ子でれら千ポー 機どしま補一どはまは葉一日 し実再すさ、で 会もたし導いもいし十市トへ たし確るれ相は とたがた員中交三た五かセ木 。た認子ま互、 意すどしの和 なち、。の央流コ。名らン〜 りの繁あ方公館し 義るもた市や

情報交換会で発言する当市補導委員

告えトのンいどは数いトムるどムら た」の、子はまも。うるしホっ外公は 。な怠フどゲっ多千意のてンてで園、 ど学アも「てく葉見で、、き遊、各 のが「たムきの市がはネゲてぶゲ市 報増スちセて子で多なツーい子しか

さ全範がで子就り補や員トのめ子た少 がてフ姿タるも「あかで機。もセ「情れ育意りきを学支導りがの温詐氏千年「参さ市」 さき | が | がた市り?遊なスたン最報ま成識をまう、援や取子掲床欺の葉の街加れ勤月 れてド減で、ち外ま」んどマちタ近交しにを深しか就と、りど示との講県健頭し、労工 まい店少遊最がかしとでを「が」は換たつ高めたが労し青をも板な受演警全補ま当会十 しるでしぶ近集らたいい通ト減等、で。なめ、。い支て少すたをつけで察育導し市館八 がる青地知援行年るち通て子は本成をたかに日 るこ少域る活っのサとしい、、部一通 。ら於へ とと年のこ動て立イ実てる架振小とし 十い水 おがのつとのいちバ際、ネけり髙題た 八て〜

ま様華い々園、ス

参南月

加小二

学十

校八

評日

議へ

委土

員〜

会

し深とる

話健規なが様る直しに署ッ子込陽し青

会千

参代

加田

中

学

校

運

営

委

員

~受賞おめでとうございます



賞一氏市福第四 さ郎、補祉三街十 れ氏栗導大十道一 まが原委会四市月 し、孝員が回文二 た功子の開四化十 。労氏五催街セ六 ▮ 顕、十さ道ン日 彰渡嵐れ市タへ を辺陽、社一木 受俊子当会でし

場 日参し当会 所 時加た市主四 人。補催街 導の道 メM四十十数 ガ2街二二 委街市 ドプ道月月十 員頭社 ンラ駅七六名 も募会 キザ 日日 参金福 ホ 加運祉 1 し動協 テ まに議

末 街た 頭す 募け 金あ 運い

歳



動

もど委保あなて援目はどし持マんれ青よ 旭一も員護っ場いしにともたっはでば少く私 集 中緒たを者で所まてな思が。て絶しい年わは 学にちやの、にすくりいいそね対たい補か韓 校頑のっ皆び行。れままるう!に。の導ら国 記 区張安てさっくパたししか、と出子か委な人 り全みんくとトおたたら私応来ど自員いで まをま、り、口か。。頑は援るも信でのす 藤し守せ青し危」げ皆今張でしかたがはで。 本よるん少ま険ルでさ年らきてらちあ、初日 うたか年しなで頑んでなるく自がりどめ本 淑。め?補た所色張が二く。れ信、まうて語 に子導。が々れ応年て子まをマせすのが

2階オープンスペースをご利用ください

まを々な

月利へ問す自プあ学 開のしク消頃 曜用四いる習でれの市放オてスし抱青 前 日時二合こやもば二内し「現さたえ少 +時へ[「]間一わと談 、個十在てプ在せりる年 〉 祝金 →世が話卓人歳住いン、ら気スの 午日曜 七☎でな球で未あまス当れ分ト皆 後を日 八○きどやも満るすぺ施るをレさ 六四まに読グのい。│設場リスん 五除 ス二所ラをが 時く 七三す利書ル方は ∘用、↑で在 を階とツ解日

動 ኴ委年 予 員度 定 連四 土 絡街 協道

後 0

時場 平議市¬ 成**会青平** 間所 定少成 午育五十期年二 前成月七総補十 十セ三年会導七 時ン十 よタ日 9 1

校第月四

区二二街

協回十道

議子六中

会ど日学

参もへ校

加育木区

中

学

成〜✓

ためコと視見、わ栃当